

UEFI 環境における  
Windows Server バックアップの  
システム回復手順

2011 年 7 月

富士通株式会社

**改訂履歴**

改版日時	版数	改版内容
2011.7.12	1.0	新規作成

目次

はじめに.....	4
1 システム回復手順.....	5
1.1 パーティション作成.....	6
1.2 Windows Serverバックアップのシステム回復.....	8

## はじめに

UEFI 環境において、Windows Server 2008 R2 の媒体で「Windows Server バックアップ」のシステム回復機能(リストア)を実行する場合、Windows Server 2008 R2 のローダープログラム(Winload.efi)のディスク識別処理に問題があり、システム回復(リストア)に失敗します。本書はこの問題を回避したリストア手順をまとめたものです。

本書は以下の環境でのリストアを前提に記載されています。環境によっては、手順が異なる場合があります。

- Service Pack 未適用の Windows Server 2008 R2 媒体を使用したリストアを行う  
(Service Pack 1 が統合された Windows Server 2008 R2 媒体を使用したリストアを行う場合は、本書の手順は必要ありません)
- これまでシステムを運用していたディスクとは異なる、初期化済みのディスクに対して、リストアを実行する
- リストアを実行するサーバにバックアップデータを格納したディスクが接続されていない

本書では、以下の略称を使用することがあります。

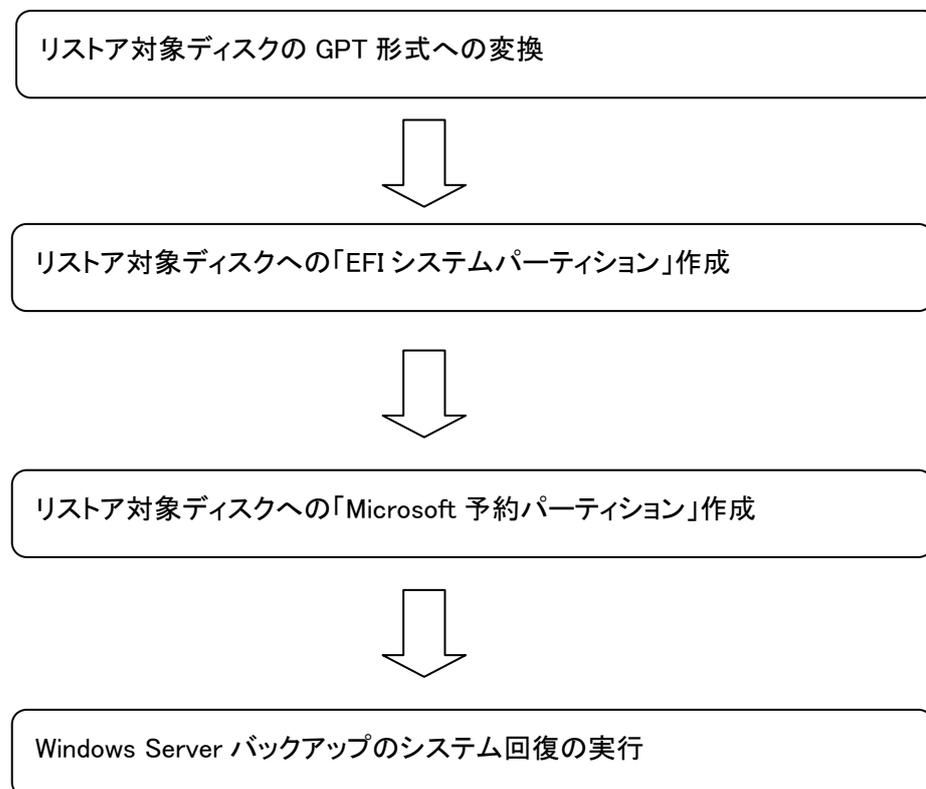
	正式名称	略称
製品名	Microsoft® Windows Server® 2008 R2	Windows Server 2008 R2

- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

Microsoft, Windows, Windows Server は、Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

## 1 システム回復手順

本書でのシステム回復フローは以下となります。



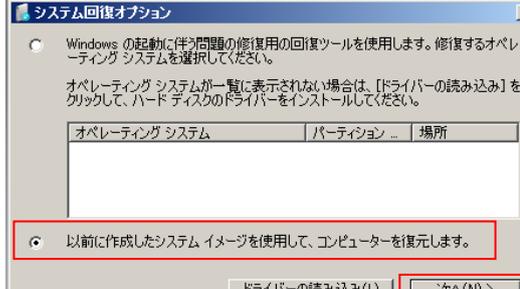
**注意:**

本書は、これまでシステムを運用していたディスクとは異なる、初期化済みのディスクに対し、システム回復を行う場合を想定しています。既に運用中のディスクに対し、本手順を実行すると、ディスクに保存していた全てのデータが削除されるため、ご注意ください。

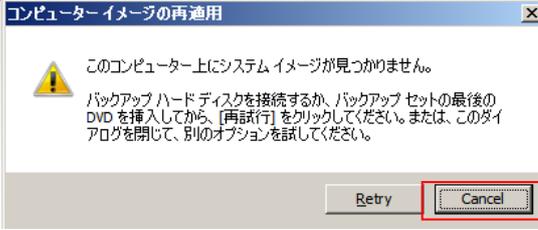
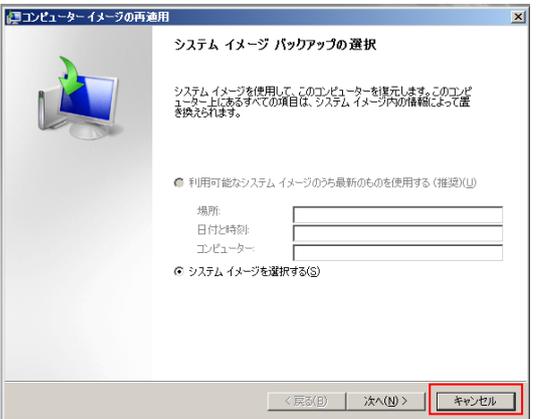
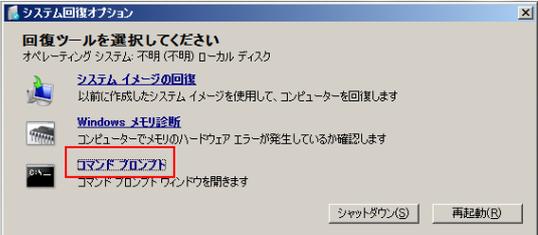
また、本手順の実行の際は、システム領域として使用するディスク以外は接続しないでください。

## 1.1 パーティション作成

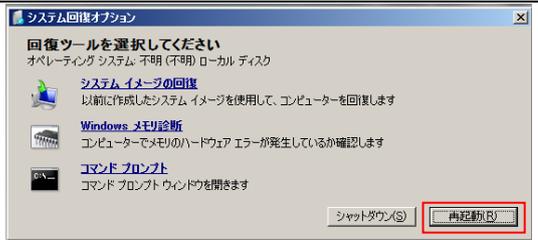
リストア対象のディスクに対し、リストア可能な構成になるようパーティションの作成を行います。

<p>1 UEFI モードで OS 媒体を起動します。</p> <p>OEM 媒体の場合、使用言語選択画面が表示されるので、「使用する言語は日本語です」を選択してください。</p> <p>(※本画面は OEM 媒体でのみ表示されます。)</p>	
<p>2 「Windows のインストール」画面が表示されます。</p> <p>「次へ」を押下します。</p>	
<p>3 「今すぐインストール」画面が表示されます。</p> <p>「コンピュータを修復する」を押下します。</p>	
<p>4 「システム回復オプション」画面が表示されます。</p> <p>「以前に作成したシステムイメージを使用して、コンピュータを復元します。」にチェックし、「次へ」を押下します。</p>	

UEFI 環境における Windows Server バックアップのシステム回復手順

5	<p>「コンピュータイメージの再適用」画面が表示されます。</p> <p>「Cancel」を押下します。</p>	
6	<p>「システムイメージバックアップの選択」画面が表示されます。</p> <p>「キャンセル」を押下します。</p>	
7	<p>「システム回復オプション」画面が表示されます。</p> <p>「コマンド プロンプト」を押下します。</p>	
8	<p>コマンドプロンプトが起動されるので、「diskpart」と入力します。</p>	<pre>X:\Sources&gt;diskpart Microsoft DiskPart version 6.1.7600 Copyright (C) 1999-2008 Microsoft Corporation. On computer: MININT-54FU672 DISKPART&gt; _</pre>
9	<p>「list disk」と入力し、接続されているディスクが正しく表示されるか確認します。</p>	<pre>X:\Sources&gt;diskpart Microsoft DiskPart version 6.1.7600 Copyright (C) 1999-2008 Microsoft Corporation. On computer: MININT-54FU672 DISKPART&gt; list disk    Disk ###  Status         Size      Free      Dyn  Gpt    -----  -    Disk 0    Online         100 GB    100 GB</pre>
10	<p>「select disk 0」と入力し、リストア対象のディスクを指定します。(例では Disk 0 を指定しています)</p>	<pre>DISKPART&gt; select disk 0 Disk 0 is now the selected disk.</pre>
11	<p>「clean」と入力し、ディスク上の情報を削除します。</p> <p>注意: 「clean」を実行すると、ディスク上のデータは全て削除されるのでご注意ください。</p>	<pre>DISKPART&gt; clean DiskPart succeeded in cleaning the disk.</pre>
12	<p>「convert gpt」と入力し、ディスクを GPT 形式に変換します。</p>	<pre>DISKPART&gt; convert gpt DiskPart successfully converted the selected disk to GPT format.</pre>

## UEFI 環境における Windows Server バックアップのシステム回復手順

13	「create partition efi size=100」と入力し、EFI システムパーティションを作成します。	<pre>DISKPART&gt; create partition efi size=100 DiskPart succeeded in creating the specified partition.</pre>
14	「create partition msr size=128」と入力し、Microsoft 予約パーティションを作成します。	<pre>DISKPART&gt; create partition msr size=128 DiskPart succeeded in creating the specified partition.</pre>
15	「list partition」と入力し、 Partition1 Sysetem Partition2 Reserved と2つのパーティションが表示されることを確認します。	<pre>DISKPART&gt; list partition  Partition ###  Type  Size  Offset ----- Partition 1    System  100 MB  1024 KB * Partition 2    Reserved 128 MB  101 MB</pre>
16	「exit」を入力し、diskpart を終了します。	<pre>DISKPART&gt; exit Leaving DiskPart...</pre>
17	「exit」を入力し、コマンドプロンプトを終了します。	<pre>X:\Sources&gt;exit</pre>
18	「システム回復オプション」画面に戻り、「再起動」を押下します。 (再起動せずにそのままリストアを開始すると失敗しますので、必ず再起動して下さい。)	

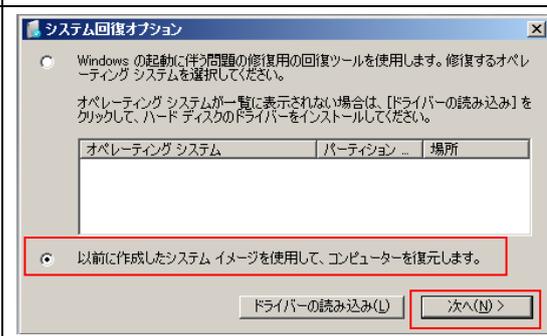
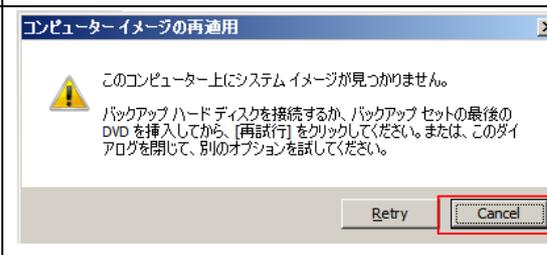
以上でパーティションの作成は完了です。

### 1.2 Windows Serverバックアップのシステム回復

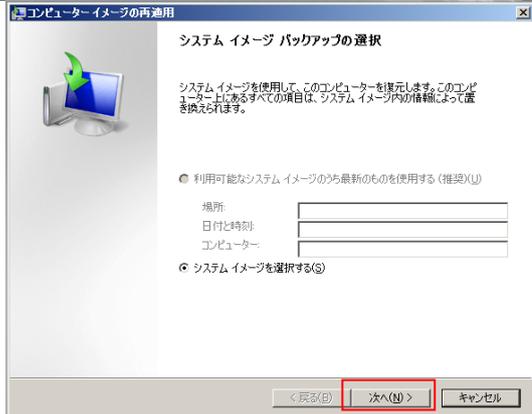
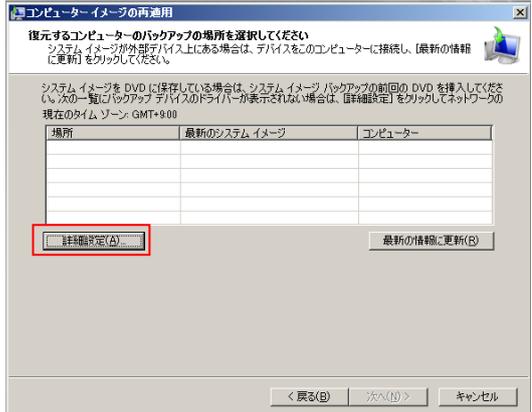
再度 UEFI モードで、OS 媒体を起動し、Windows Server バックアップのシステム回復(リストア)を実行します。

1	UEFI モードで OS 媒体を起動します。 OEM 媒体の場合、使用言語選択画面が表示されるので、「使用する言語は日本語です」を選択してください。  (※本画面は OEM 媒体でのみ表示されます。)	
---	---	--

UEFI 環境における Windows Server バックアップのシステム回復手順

<p>2 「Windows のインストール」画面が表示されます。 「次へ」を押下します。</p>	
<p>3 「今すぐインストール」画面が表示されます。 「コンピュータを修復する」を押下します。</p>	
<p>4 「システム回復オプション」画面が表示されます。 「以前に作成したシステムイメージを使用して、コンピュータを復元します。」にチェックし、「次へ」を押下します。</p>	
<p>5 「コンピュータイメージの再適用」画面が表示されます。 「Cancel」を押下します。</p>	

UEFI 環境における Windows Server バックアップのシステム回復手順

<p>6 「システムイメージバックアップの選択」 画面が表示されます。 「次へ」を押下します。</p>	
<p>7 「コンピュータイメージの再適用」画面が表示されます。  「詳細設定」を押下し、リストア対象のバックアップデータを選択し、システム回復を実行してください。</p>	

以降は通常のシステム回復手順となるため、本書では記載を省略します。

富士通 PC サーバ PRIMERGY につきましては、以下の技術情報を参照願います。

・PC サーバ PRIMERGY

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>

・PC サーバ PRIMERGY 機種比較表

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/catalog/select-spec/>

・サーバ選定ガイド

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/technical/select-model/>

富士通 PC サーバ PRIMERGY のお問い合わせ先。

・PC サーバ PRIMERGY (プライマジー) のお問い合わせ

<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/contact/>

基幹 IA サーバ PRIMEQUEST につきましては、以下の技術情報を参照願います。

・基幹 IA サーバ PRIMEQUEST

<http://primeserver.fujitsu.com/primequest/>

・PRIMEQUEST 1000 シリーズ 製品ラインナップ モデル比較表

<http://primeserver.fujitsu.com/primequest/products/>

基幹 IA サーバ PRIMEQUEST のお問い合わせ先。

・基幹 IA サーバ PRIMEQUEST のお問い合わせ

<http://primeserver.fujitsu.com/primequest/contact/>



shaping tomorrow with you